

令和5年1月

むつみ愛 i



六ツ美西部小学校
校長室だより

ホームページ掲載用通信

義時から家康へ

六ツ美西部学区の市民ホームに「**本多作左衛門重次**」の碑があります。重次は、徳川家康が江戸幕府の基盤を作り上げた西暦1600年よりもずっと以前から松平家、徳川家を守ってきた武将の一人で、松平家、徳川幕府の政治の中枢を担うだけでなく、例えば小牧・長久手の戦いでは、時の権力者豊臣秀吉の軍との戦の際、岡崎城を死守した強者としても有名です。そんな**岡崎の礎を築いた重次を、わたくしたち六ツ美西部学区のみなさんは、先達として大切にしています。**

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の最終話が師走の末に放映されました。鎌倉幕府第二代執権・北条義時の壮絶な最期を、主演の小栗旬さんが見事に演じ、わたくしも見ていて心が震える思いがしました。また、監督、三谷幸喜さんの作品構成の妙味に関心するばかりでした。

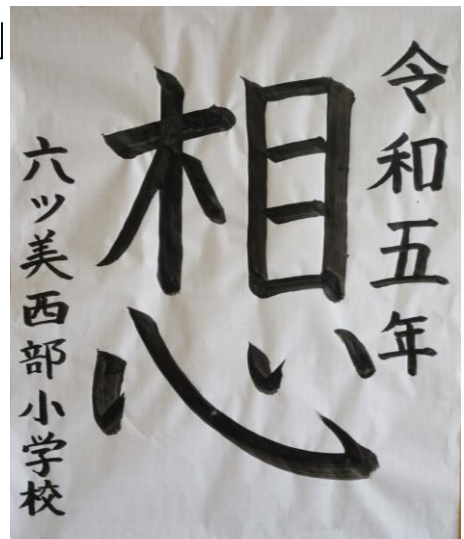
そして年が明け、**松本潤さん主演「どうする家康」の新たな物語が始まりました。**

昨今の社会情勢に目や耳を傾けると、例えば「ロシア・ウクライナ問題」「中国・アメリカ問題」「南北朝鮮問題」…。無知な私でも、これくらいのキーワードを唱えることができます。いったいこの先、世界はどうなってしまうのでしょうか。そして、**この混沌とした現代社会を生きていく子供たちは…。**

単なる協調性だけでは、この危機を乗り越えることは難しいかもしれません。とって自己主張を強めるだけでは、世界中の混乱は避けられません。**「どうする日本」。**ヒントはこれまでに幾度も困難を乗り越えてきた、世界や日本の歴史にあるのかもしれない。

児童に示す「令和5年・漢字一字」

2学期終業式は、テレビ放送による式になりました。わたくしは子供たちに令和4年の漢字一字「戦」について話しました。世界で起こっている戦争のこと、コロナと人類が戦っていること。でも、この一字が令和4年を代表する言葉に選ばれるのは、つらい気持ちになります。そこで「いくさ」を逆さにし「さくい」の一年にしたいと思いました。「作為」「作意」漢字にするとあまり良い印象が浮かびません。しかし、ひらがななら**「気持ちを動かす」と捉えることもできます。**そこで、六ツ美西部小の令和5年の目標の一字を「**想(おもう)**」にしました。様々な困難な場面で、**強い気持ちをもちながらも、互いに気持ちを通じ合わせる優しさを大切にしよう。**



今年も一年、良い年となるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。